

## 交流会のご案内

10月18日夕刻より、タワーホール船堀内にて交流会を開催します。例年500名程の参加者が集い大盛況の中で様々な交流が繰り広げられます。今回も、学生さんには企業から提供された豪華景品のあたる企画をご用意しております。皆様お誘い合わせて是非ご参加下さい。参加登録と併せてお申し込み下さい。当日参加も歓迎します。

[開催日] 10月18日 夕方

区分	交流会参加費
一般(会員・非会員問わず)	3,000円
学生(会員・非会員問わず)	1,000円
ポスター登壇者	無料

## 参加登録のご案内

CSJ化学フェスタで実施する企画へ参加される方には、参加登録費の有料/無料に関わらず参加登録をお願いします。ウェブサイトよりお申し込み下さい。当日登録も可能ですが、現地での混雑を避けるためできる限り事前登録をお願いします。

なお、学生ポスターの発表者の方は別途登壇料をお支払いいただいているので、参加登録手続きの必要はありません。

日本化学会の責によらない天変地異や交通機関の乱れ、事件・事故等によりやむを得ず開催が中止された場合でも、予稿集の発行をもって開催されたものとみなし、参加登録費・ポスター登壇料を返還できない場合があります。あらかじめご承知おき下さい。

### 1. フェスタ企画へ参加の方

#### 1. 事前登録期間

8月1日～9月5日

※参加費のお支払い期限：9月5日 受領印有効

#### 2. 申込方法

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。

#### 3. 参加登録費

フェスタ企画の参加登録費は以下のとおりです。いずれもプログラム集が含まれます。

会員区分	事前登録	当日登録
正会員*1	15,000円(税込)	18,000円(税込)
非会員	27,000円(税込)	30,000円(税込)
学生会員	4,000円(税込)	5,000円(税込)
非会員学生	5,000円(税込)	6,000円(税込)

\*1…個人正会員・教育会員・シニア会員・法人正会員企業に所属する方が対象です。

#### 4. お支払い方法

銀行振込又は郵便振替でのいずれかをお願いします。詳細は申込受理通知メールをご参照下さい。支払期限を過ぎてご入金を確認出来ない場合、事前登録は無効となります。会期当日に現地でご登録手続きを行って下さい。

#### 5. 領収書の発行

参加証等を事前送付する際に同封します。

#### 6. 参加証等の送付

振込期限までにご入金を確認できた方に対して、予稿集発行日以降に参加証等を送付します。なお、プログラム集の受け取りは事前配布と現地受け取りのいずれかを選択できます。

#### 7. 予稿集(Web)

期日までに入金を確認出来た方には、パスワードを発行します。予稿集(Web)をご覧いただく際にご活用下さい。

### 2. 公開企画へ参加の方

ウェブサイトの参加申込フォームからお申し込み下さい。登録完了後に受理通知メールが届きます。受理通知メールが参加証を兼ねますので、出力の上、当日受付にてご提出下さい。

## 日本化学会第98春季年会(2018)のお知らせ

第98春季年会実行委員会

第98春季年会(2018)は、2018年3月20日(火)より4日間にわたり日本大学理工学部船橋キャンパスにて開催いたします。

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一同に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場でもあります。例年多くの参加者が集うこの年会では6,000件にもおよぶ発表がなされますが、今回の春季年会におきましてもさらに多くの研究発表の応募を期待しています。

本号では通常の研究発表の募集に先立ち、特別枠として立案されている、産学官や産産の交流・連携のための企画「アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)」を紹介いたします。

これに加え、3時間の枠で自由にシンポジウムを企画していただく「特別企画」、プロジェクトの成果報告など広く一般の方々も無料で聴講可能となる「コラボレーション企画」、会期中に日本滞在する著名な外国人研究者による「外国人の特別講演」、次世代を担う若手研究者による「若い世代の特別講演会」の募集を行いますので、奮ってご応募下さい。

なお、本年会のお知らせは本誌会告欄(8・10・11・1・3月号)でお伝えするとともに、最新情報をウェブサイト(<http://www.csj.jp/nenkai/>)にて随時公開していきますので、併せてご覧下さい。

- 主催** 公益社団法人 日本化学会
- 会期** 2018年3月20日(火)~23日(金)
- 会場** 日本大学理工学部 船橋キャンパス (千葉県船橋市習志野台7-24-1)
- 実行委員長** 高田 十志和 (東京工業大学物質理工学院・教授)
- 内容** アカデミック・プログラム (AP:一般研究発表) (口頭・ポスター)  
アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) (口頭・ATPポスター)  
外国人の特別講演・受賞講演・特別企画・展示会・表彰式・懇親会・市民公開講座・コラボレーション企画  
中長期テーマ・アジア国際シンポジウム・イブニングセッション・若い世代の特別講演・その他委員会企画
- 特筆事項** 日本化学会では、年会の国際化を推進する中で英語での講演を推奨しています。会員各位のご協力で英語講演件数は顕著に増加しており、97年會にて口頭B講演の英語化率は、71.3%となりました。  
第98春季年會ではさらなる増加が望まれます。つきましては、以下のカテゴリーに該当する方は英語での講演に積極的に取り組まれますようお願いいたします。  
・年會発表経験者、B講演、学術関連の受賞講演  
また、ポスター発表 (AP) については、ポスターパネルの英語での作成を強く推奨いたします。(97年會では英語化率62%)
- 重要な日程**
- |          |                   |           |
|----------|-------------------|-----------|
| 講演申込期間   | 2017年11月9日~11月30日 | 詳細は本誌10月号 |
| 予稿原稿提出期間 | 2018年1月9日~1月16日   |           |
| 参加予約期間   | 2018年1月9日~2月20日   | 詳細は本誌1月号  |
| プログラム公開  | 2018年2月13日(予定)    |           |
| 予稿集発行日   | 2018年3月6日(予定)     |           |
- 問合せ先** 日本化学会 企画部 年會係  
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5  
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail:nenkai@chemistry.or.jp  
URL: <http://www.csj.jp/nenkai/>
- アカデミック・プログラム (AP:一般研究発表) の講演申込者および登壇者は、原則として本會會員に限ります。発表予定の方で未入會の方は、お早めに當會ウェブサイト (<http://www.csj.jp/kaiin/index.html>) よりご入會の手続きをお願いいたします。入會手続きに關してのお問合せは、下記までお願いいたします。
- 問合せ先** 日本化学会 総務部 會員担当  
〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5  
電話(03)3292-6169 FAX(03)3292-6317 E-mail:member@chemistry.or.jp

### 1. アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)

アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP) は、化学を中心とする幅広い分野において産業界が注目するテーマにスポットを当て、産学官の研究者が一堂に会して最先端の技術や市場動向についてディスカッションできる企画です。14回目となる今回は、基盤技術/エネルギー/ヘルスケアの3分野における12の「ATPセッション」に加え、ニーズとシーズのマッチングを志向した「ATPポスター」、ざっくばらんに議論ができる「ATP交流会」を実施し、産学官連携のきっかけとなる場を提供します。

**開催期間** 2018年3月20日~23日

**開催場所** 日本大学理工学部 船橋キャンパス

**予定セッション概要 (タイトルは未定)**

1. 社会を支える基盤技術
  - A. IoT・AIにおける化学のイニシアチブ
  - B. セルロースナノファイバー
  - C. バイオミメティクス
  - D. 革新的膜工学
  - E. 触媒化学における元素戦略

### 2. エネルギーイノベーション

- A. 次世代太陽電池
- B. 人工光合成
- C. 水素利活用技術
- D. 次世代二次電池
3. ヘルスケア革新技術
  - A. 無機系生体適合性材料
  - B. センシング技術
  - C. バイオベンチャー

※最新情報はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時公開いたします。

### 2. 春季年會実行委員会と学術研究活性化委員会の合同企画

春季年會では、中・長期戦略に基づくシンポジウム「中長期テーマ」を6件実施予定です。

- ・分子設計と分子技術:新機能によるイノベーション
- ・複雑系のための分子科学—分子機能はどこまで予言できるか

- ・天然光合成の学理解明と革新的人工光合成系実現への道
  - ・細胞・組織・臓器機能を解明する分子解析デバイスと応用展開
  - ・ケミカルバイオロジー研究加速のための生物活性分子の発見戦略
  - ・革新的触媒の創製
- 趣旨やプログラムにつきましては、ウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にて随時更新いたします。また、詳細につきましては本誌1月号に掲載予定です。

### 3. 「特別企画」企画案の募集

毎年、春季年会のプログラムに「特別企画」が組み込まれ好評を得ておりますが、本年会でも会員の皆様より企画案を下記要項により募集いたします。

特別企画は、3時間の枠内（9時30分～12時30分または13時30分～16時30分）で自由に企画いただけます。特別企画は原則として初日と最終日に開催することとなり、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。企画内容は下記のいずれかを満たす企画とします。なお、実行委員会では、講演者、座長の方への謝礼、旅費等のお支払いはしていません。あらかじめお含み置き下さい。※下記とは異なる企画を実施したい場合は、本項4. 「コラボレーション企画」へお申し込み下さい。

1. 産・官・学の意見交換を積極的に行うための企画
2. 新分野・新領域の開拓に向けての企画で産業界からの参加が見込まれるもの
3. 他分野への発展を図る企画や、学際領域を積極的に開拓するための企画
4. 研究最先端のトピックスをまとめて情報提供するための企画

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、15件程度を採択させていただきますが、企画案によっては修正をお願いする場合があります。採択された特別企画につきましては、10月末までに最終企画書を再提出いただきます。

応募の際には別枠で企画されている「中長期テーマ」および「アドバンスト・テクノロジー・プログラム (ATP)」等の内容と重複しないようにご注意ください。上記企画内容の詳細はウェブサイト (<http://www.csj.jp/nenkai/>) にてご確認下さい。

なお、日本化学会では、年会の国際化を推進する中で英語での講演を推奨しています。特別企画の採否を検討するにあたっては、英語で行われる企画を優先的に採択いたします。

**開催日** 第98春季年会会期の初日もしくは最終日

**開催時間** 9時30分～12時30分もしくは13時30分～16時30分

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 企画タイトル (和文/英文/略称)
2. 本企画に関連が深い一般講演の分野
3. 本企画を今年度の春季年会で提案する理由、意義
4. 趣旨文 (約300字)

5. プログラム案もしくは講演者案  
※講演者については、予め、内諾を取って下さい。その際には、予稿原稿 (2ページ) と略歴が必要であることも合わせてご連絡下さい。
6. 本企画を実施する際に使用する主な言語
7. 開催予定日 (2018年3月20日および23日) のうち、都合の悪い時間帯をお知らせ下さい。
8. 予想聴講者数
9. 企画責任者氏名、所属 (官学界、産業界各1名)  
※日本化学会の個人の会員である必要がございます。
10. 応募者氏名および連絡先  
(勤務先所在地、電話番号、E-mail)

**締切** 2017年9月19日(火) 締切厳守

**応募先** 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: [nenkai@chemistry.or.jp](mailto:nenkai@chemistry.or.jp) 電話 (03) 3292-6163

### 4. 「コラボレーション企画」企画案の募集

「特別企画の趣旨とは異なるが、春季年会にてシンポジウムを実施したい」というニーズに答えるべく、春季年会とのコラボレーションを意味した「コラボレーション企画」というコンテンツを用意いたしました。下記に該当する企画の場合は、企画実施料をお支払いいただく、コラボレーション企画としてお申し込みが可能です。なお、本企画は、会場割付終了後に会場が空いている場合のみ開催が可能です。また、開催日および時間帯は実行委員会が決定いたします。

1. 商業的 (自社製品の紹介など) な周知を目的としたシンポジウム
2. プロジェクトの成果報告を目的としたシンポジウム
3. 化学会以外の授賞式 (講演、報告会) を目的としたシンポジウム など

応募いただきました企画案は、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。採択されたコラボレーション企画につきましては、11月初旬までに1月号会告原稿を提出いただきます。

**開催日** 全日から選択可能です。※ただし、会場が空いている場合に限る。

**開催時間** A) シンポジウム形式 (9時30分～12時30分) もしくは13時30分～16時30分)

B) ランチョン形式 (11時～13時)

**主な特徴** ◆本企画の聴講者の参加登録について

春季年会の参加登録は不要です。広く一般の方や化学会と関わりのない方も無料で聴講することが可能となります。

◆開催日について

全日から選択可能です。ただし、会場割付終了後に会場が空いている場合のみ開催可能です。

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

1. 申込形式および開催希望日  
A) シンポジウム形式 B) ランチョン形式
2. 企画タイトル (和文/英文/略称)
3. 趣旨文 (約300字)



## 4. 会場規模

## 5. 応募者氏名および連絡先

(勤務先所在地, 電話番号, E-mail)

締切 2017年9月19日(火) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

## 5. 「外国人の特別講演」候補者の推薦について

本年会会期中に日本に滞在され、これを機にご講演(講演時間50分)願える外国人候補者の推薦をお願いいたします。ご推薦いただきました候補者については、講演企画小委員会および実行委員会にて検討し、採択させていただきます。なお、実行委員会では、薄謝をお支払いするのみで、渡航費用、国内滞在費等のお支払いおよび接待は致しかねますので、あらかじめお含み置き下さい。

講演日時 第98春季年会会期中(採択時に決定)

講演時間 50分

**推薦方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

- 講演候補者名・所属・役職・国名・演題(仮題)
- 専門(なるべく詳しく)および推薦理由
- 略歴(年齢もお書き下さい)
- 講演希望日(会期中で、半日単位、第3希望までお知らせ下さい。なおご希望にそえない場合がありますのであらかじめご了承下さい。例:3月21日午後)
- 講演会場希望(特別講演用会場もしくは一般会場)
- 推薦者氏名および連絡先(勤務先所在地, 電話番号, E-mail)

締切 2017年9月19日(火) 締切厳守

※以後、11月中旬までは事務局へご相談下さい。

推薦先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

## 6. 第32回若い世代の特別講演会講演者募集

化学および化学技術の将来は、若い世代の双肩にかかっております。本会では毎年年会の際に若い世代の研究者を励まし、次代の化学および化学技術をさらに活性化するために標記講演会を企画し、意欲的に研究を行っている若手研究者に“特別講演”の機会を設けております。この講演に対しては、本会会長から特別講演証も贈られ、また、本誌に執筆の機会がありますので、奮ってご応募下さいますようご案内いたします。

会期 第98春季年会会期中

会場 第98春季年会会場〔日本大学〕

講演件数 選考の上、20件以内(講演時間:25分+討論5分)

**応募資格** 本会に1年以上在籍する40歳以下(講演会が行われる年(2018年)の4月1日現在)の個人会員。ただし、過去に若い世代の特別講演に受賞している者および本会進歩賞を受賞している者の申込資格はない。

**応募方法** 応募用紙を春季年会ウェブサイトより入手し、必要事項をご記入の上、E-mailにてご応募下さい。

- 講演申込書(①講演部門, ②講演題目, ③氏名, ④生年月日, ⑤会員番号, ⑥所属, ⑦連絡先, ⑧略歴)
- 講演内容(図表を含め2枚)
- 講演に直接関連した発表論文リスト(学会発表, 特許等を含み10件以内)
- 申請趣旨(研究の意義と独創性を400字以内にまとめたもの)

**講演部門** 1. 物理化学, 2. 無機・分析化学, 3. 有機化学, 4. 材料化学・高分子化学, 5. 天然物化学・生体関連化学(医農薬を含む), 6. 複合領域(情報・計算機化学, 地球化学, 環境化学, 資源・エネルギーを含む)

締切 2017年9月19日(火) 締切厳守

応募先 日本化学会 企画部 年会係

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 電話(03)3292-6163

## 化学語り部:オーラルヒストリーのインタビュー冊子配布について

化学遺産委員会

「化学遺産委員会」では、事業の1つとして、著名な化学者へのインタビューを継続的に実施し、冊子・DVDを作成しております。インタビューの中では、多くの領域で世界をリードする我が国の科学分野において、現在に至るまでに如何に先導的な立場から研究を指導し、科学技術を生み出し、また、多くの優れた人材を育成してきたのか、などについてふんだんに語られております。

このたび、1人でも多くの方にインタビューをご覧いただきたいという思いから、化学会にて保管しておりました冊子をご希望の方に配布する運びとなりました。在庫限りではございますが、冊子ご希望の方は、お申込用紙にご記入の上、メールにてお申し込み下さい。着払いにて送付させていただきます。

申込用紙や詳細は化学会ホームページからご確認下さい。

URL: <http://www.chemistry.or.jp/know/heritage/index.html#kataribe>

問い合わせ先: chemarch@chemistry.or.jp (化学遺産委員会事務局)

## [インタビュー者リスト]

立花 太郎氏, 関 集三氏, 吉田 善一氏, 鶴田 禎二氏, 本多 健一氏, 石坂 誠一氏, 向山 光昭氏, 千原 秀昭氏, 田中 郁三氏, 山本 明夫氏, 中西 香爾氏, 瀬谷 博道氏, 辻 二郎氏, 進藤 昭男氏, 安井 昭夫氏, 藤原 鎮男氏, 作花 濟夫氏

以上